

所属（ 元気な島づくり課 ） 担当者（ 嶋立 ） 内線（ 62 - 3592 ）

<b>タイトル</b>
<b>大学生が地島・大島へのパンフレットを作成 ちょっと船旅！～日常からワープする、近くて遠い旅～</b>
<b>概要</b> (発表内容を簡単に記入してください)
<p>持続可能な航路の運営と、より多くの人に市営渡船を知ってもらい利用してもらいたいという思いを受け、九州産業大学の学生たちが、大島・地島でフィールドワークで散策や島民へのインタビューを行い、「船の旅」そのものを楽しむという新たな視点で「ちょっと船旅！」パンフレットを作成しました。</p> <p><small>こうのみなと</small> 神 湊と大島、地島をつなぐフェリーや旅客船。島民の交通手段として利用されるだけでなく、観光客や釣り客などにも利用されていますが、離島の人口減少や新型コロナウイルス感染症等により、渡船利用者が減少しています（令和3年度は令和元年度比で約2割減少）。現在は少しずつ増加しているものの、コロナ禍前に比べ完全に戻っていない状況です。</p> <p>このパンフレットを通して、今まで大島や地島に来たことがない方や、船に乗ったことがない方など、若い世代を中心に多くの方々に新たな非日常体験を提供できるとともに、船や離島の魅力を知ってもらえることを期待しています。</p>
<b>内容</b> (発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能)
<p>◆パンフレットの作成について 編集・発行：九州産業大学 地域共創学部 地域づくり学科 行平ゼミナール。（学生12人が参加） 令和4年度宗像市元気な島づくり事業補助金を活用して作成。</p> <p>◆パンフレットの設置場所 ※設置開始 3月下旬から JR博多駅や小倉駅などの主要駅、神湊渡船ターミナル、道の駅むなかたなどに設置 ※市公式HPでも閲覧可能</p> <p>◆作成部数 15,000部（うち市が受取り分は9,600部）</p> <p>◆学生・先生のコメント</p> <p>《学生》 「大島や地島に行く際に島の素晴らしさはもちろんのこと、船に乗ることが非日常でとても楽しかったので、船に乗る事を前面に押し出したパンフレットを作成しました。地島では帰りの切符を買う場所が島内になど、船の乗り方が初めての人に分かりにくいところも多かったので、それを解決できるように心がけました」</p> <p>《行平先生》 「大島は素晴らしい観光地ですが、往復1,140円の渡船料がかかることから、本土側に比べて、この点が観光地として不利な点として挙げられます。しかし、学生が船に乗って過ごした時間が非日常で楽しかったとの声が多く、船に乗ることは魅力がある事と思います。そのため、船に乗ることそのものに価値を置くことで、その不利を有利に変えられればと思います」</p>
<b>本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先</b> (所属、担当者名、TEL)
◆宗像市 産業振興部元気な島づくり課 嶋立（しまたて）TEL:62 - 3592
◆九州産業大学 総合企画部広報課 建（たて） TEL:092-673-5012